

**分野** 地域 SNS を活用した ICT 人材育成

**サービス・事業概要**

(1) 地域の情報化とICT活用に関する裾野を広げていくためのICT人材、ICTサポーターを育成した。  
 (2) 地域SNS「ひよこむ」に動画配信システム機能を追加拡張して、県内に設置したデジタルサイネージ(31台)の加入者(事業者)へライブ中継と動画ダウンロードのPush型動画配信を実施した。  
 尚、デジタルサイネージは家庭用液晶テレビを流用し、セットトップボックス(STB)を外付けすることにより1台10万円未満の低価格化を実現した。

**サービス・事業の背景**

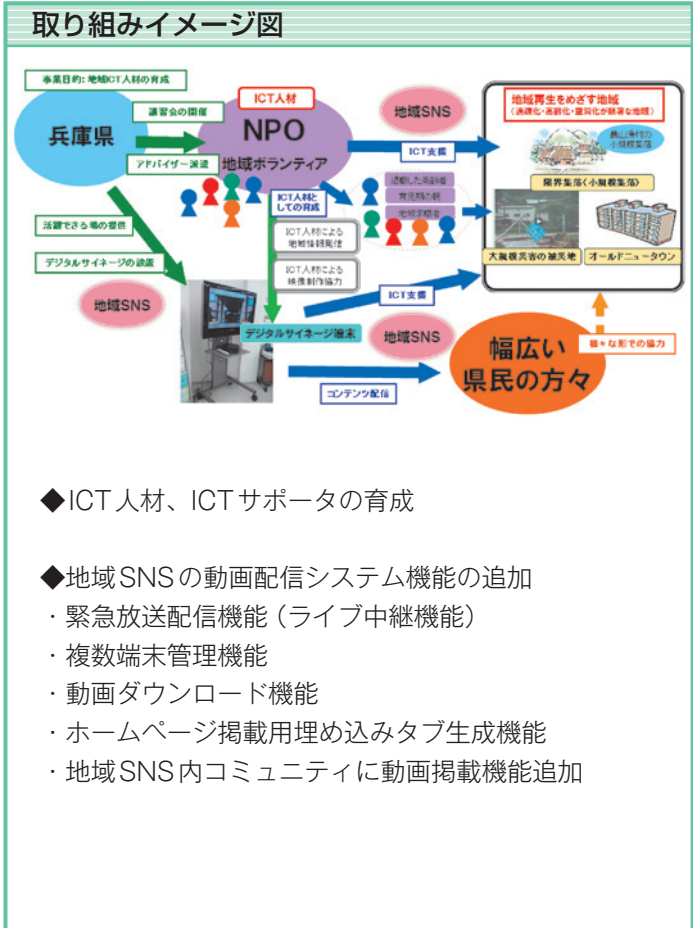
地域の情報化とICT人材育成を目的として、NPO法人等の地域団体が主体的に情報発信できる環境の整備が望まれていた。  
 平成21年度2次補正予算「ICTふるさと元気事業」に応募した「ひょうご地域再生支援ICT人材育成事業」が採択され本事業を実施した。

**サービス・事業の成果**

- ▶ 地域ICT人材の育成
- ▶ 地域団体が主体的に情報発信できる環境の整備
- ▶ 地域SNSのより一層の利活用

**実施運営体制**

- ▶ 実施主体：ひょうご地域再生支援ICT人材育成プラットフォーム(兵庫県、OpenSNP地域情報プラットフォーム連携プロジェクト)
- ▶ 予算担当部門：兵庫県企画県民部企画財政局情報企画課
- ▶ 開発：インフォミーム株式会社
- ▶ 協力：地域SNSひよこむ運営委員会  
 NPO法人コミュニティリンク  
 NPO法人明石インターネットパワーズ  
 NPO法人姫路コンベンションサポート  
 るんるんテレビ  
 いたまちSNS運営委員会  
 いたまちサイネージ運営協議会



## 成功要因の整理

### 行政の特色／役割

- ▶ 本事業に先立ち部門長のリーダーシップにより民間に呼びかけて地域 SNS 運営団体を発足
  - ✓ 地域情報化の人脈に詳しい
  - ✓ 人を集めるカリスマ性がある
- ▶ ボランティア意識の高い県内の風土
  - ✓ 初期の地域 SNS は無償で開発・構築・運営
- ▶ 軌道に乗った地域 SNS 基盤を活用して新たな事業（本事業）を展開
  - ✓ 民間運営により行政の後年度負担が軽減されている



実績あるプロ集団の人的ネットワークが出来上がってれば、更なる新たな事業も迅速に展開できる。

また、始めて人的ネットワークを築き上げるには、熱意ある人の存在が重要である。

### 現状調査・サービス企画・事業計画プロセス

- ▶ 官民連携で「ひょうご地域再生支援 ICT 人材育成プラットフォーム」を設立
  - ✓ プロジェクトリーダーは情報政策課（現情報企画課）主幹
  - ✓ 地域 SNS ひよこむ運営委員会が全面的に協力
- ▶ 地域 SNS の運営団体が調査・企画・計画に協力
  - ✓ プランニング、ネゴシエーションが重要



新たなサービス展開には、現在ある運用体制の活用が肝要である

### 開発・運営・評価プロセス

- ▶ コネクションを通じて協力団体を募り本事業を実行・展開
  - ✓ 31 力所でデジタルサイネージによる映像情報配信を実現
- ▶ 本事業の成果を踏まえて、更にエリアワンセグによるデジタルサイネージの新企画を実行中



プロ同士の「コミュニケーション」が協力体制の和を広げる

### 導入経費及び維持経費

導入経費：1,280 万円（平成 21 年度 2 次補正予算「ICT ふるさと元気事業」）  
維持経費：0 万円／年

### 問合せ先

兵庫県企画県民部 企画財政局 情報企画課 情報政策係  
住 所：兵庫県神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号（兵庫県庁 2 号館 7 階）  
E-mail：Johokikaku@pref.hyogo.lg.jp

